

通信学習実施計画書

1 講義を通信の方法によって行う地域

- ・大阪府全域及び和歌山県北部地域とする。

2 添削指導の方法

- ・自宅学習期間の質問方法

質問はFAX及びメールによるものとする。

添削担当講師：別添カリキュラム参照

ファックス番号 072-493-8087

メールアドレス anshin-trust@orion.ocn.co.jp

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5時間	5時間
(3) 介護の基本	3時間	3時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	7.5時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3時間
(6) 老化の理解	3時間	3時間
(7) 認知症の理解	3時間	3時間
(8) 障がいの理解	1.5時間	1.5時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12時間	12時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は4回に分けて手渡しにより配布する。

提出は原則として、あらかじめ定めた提出日に持参して行う。

科目番号	配布日	学習期間	提出日(標準)
(2)	1回目スクーリング時	11日間	10回目スクーリング時
(3)	1回目スクーリング時	11日間	10回目スクーリング時
(4)	5回目スクーリング時	17日間	11回目スクーリング時
(5)	5回目スクーリング時	17日間	11回目スクーリング時
(6)	7回目スクーリング時	14日間	12回目スクーリング時
(7)	7回目スクーリング時	14日間	12回目スクーリング時

(8)	9回目スクーリング時	18日間	16回目スクーリング時
(9)	9回目スクーリング時	25日間	21回目スクーリング時

5 通信学習課題

- ① 課題種類数 1種類
- ② 出題形式及び出題数

科目番号・科目名	択一形式	穴埋め形式	記述式	合計
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	7問	2問	2問	11問
(3) 介護の基本	5問		2問	7問
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	11問		2問	13問
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	5問		2問	7問
(6) 老化の理解	6問		2問	8問
(7) 認知症の理解	5問		2問	7問
(8) 障がいの理解	2問		1問	3問
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	24問	3問	9問	36問
合計	65問	5問	22問	92問

6 評価基準

合格基準：

ア. 択一形式及び穴埋め形式問題については、各項目合計点数60点以上を合格とする。

イ. 記述式問題の評価基準を

A・・・テーマに沿った適切な記述と認められる。

B・・・概ねテーマに沿った適切な記述と認められる。(60%程度以上)

C・・・テーマに沿った記述であるとは認められない。(60%程度未満)

とし、A及びB評価について合格とする。なお、評価基準の判断は担当講師に委ねる。

ウ. 各項目についてア及びイの両方が合格基準に達した場合をもって、当該項目の合格とする。

エ. 各科目における全項目が合格基準に達した場合をもって、当該科目の合格とする。

合格基準に満たなかった場合は、再提出により、再評価を実施する。再提出日は、評価の内容を通知した日から起算して7日以内とする。

7 通信添削業務受託事業者

(1) 自社で実施する。

(2) 委託先研修機関